

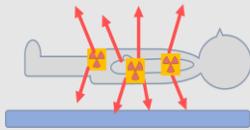


PET検査後の患者さんが検査室から退室できるのは 予約時刻から約2時間後です

PET検査は、もともと時間のかかる検査ですが、検査が終わってからもしばらく検査室に待機していただく必要があります。その理由を説明します。

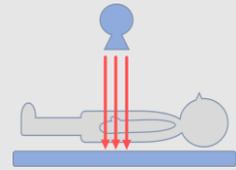
放射線を用いた検査の特徴の違い

PETを含む 核医学検査 (RI検査)

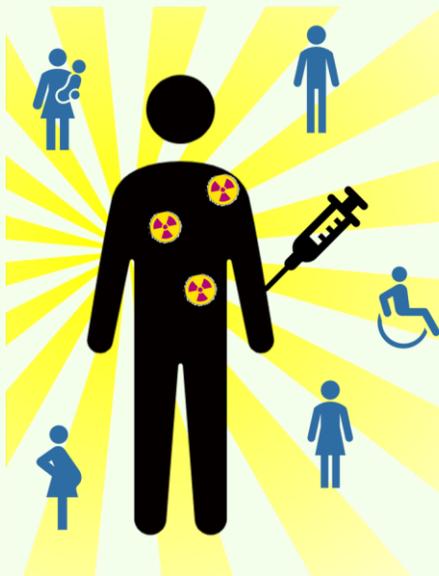


体内に投与された薬剤 (放射性医薬品) から出る放射線を検出器で撮像する時間と共に減衰するが、検査後も放射線は患者から放出される

レントゲン検査やX線CT検査



体外から放射線を照射し体内を透過した放射線を反対の検出器で撮影する
放射線は撮影時のみ放出



PETを含む核医学検査 (RI検査) を受けた方のからだの中には、検査後もしばらく薬剤が残っており、まわりに放射線を出し続けています。

レントゲン検査やCT検査で被ばくをするのは、撮影室の中で検査をしている患者さんだけです。RI検査では検査を受けた方のまわりにいる人たちも被ばくします。

その中でもPET検査は注射直後の線量が比較的高いものです。まわりの方が受ける放射線被ばくはからだに影響が出るようなものではありませんが、不特定多数の方への被ばくをできるだけ減らすために、十分な減衰を待ってから退室することが望ましいとされています。

だから、FDG-PET/CT検査は、2時間経過してからお部屋をでるのですね。

注意事項

 妊娠の可能性のある患者さんは検査前に必ず申し出ていただく必要があるのはもちろんですが...

お付き添いの方は、検査の間、検査室エリア外の場所でお待ちいただけます。



小さなお子さんや妊婦さんの付き添いはできるだけお控えください

PET検査直後の診療では医療スタッフも被ばくしますので、検査や診察の順番にも配慮が必要です。



核医学検査 (RI検査) は、検査が終了していても患者さんから しばらく放射線が出ているんだね。

